



---

# 2023年3月期 第1四半期決算説明会

1. 2023年3月期第1四半期決算概要
2. 2023年3月期業績見通し

2022年8月9日

**森永乳業株式会社**

---

# 1. 2023年3月期第1四半期決算概要

## 2. 2023年3月期業績見通し

# 2023年3月期第1四半期 決算概要



## サマリー：増収、大幅減益

- 売上高：1,303億円（前年比+1.6%）  
営業利益：63億円（前年差△36億円）

## 売上高

- **価格改定の実施・浸透取り組み**（22年2月：「マウントレニア」、4月：チーズ、6月：アイスクリーム、など）、機能性ヨーグルトなど高付加価値商品へ注力。一部、消費動向の変化の影響を受ける
- B to B 事業：感染症による環境変化に対応した**業務用乳製品の拡大**
- 海外事業：**育児用ミルク・菌体輸出堅調**、乳原料市況上昇に対応し**ミライ社は増収**。円安影響

## 営業利益

- **原材料・エネルギー価格上昇の影響**（前年差 △33億円）、**価格改定（売上単価差）は想定通りの進捗**
- 一方、特に**主力食品事業の減収影響**もあり、プロダクトミックス改善や、コストの見直しなどに取り組むも、**コストアップ分を全て吸収するに至らず、減益**

# 2023年3月期第1四半期 業績



(単位：億円)

	22/3期1Q	23/3期1Q	対前年増減額	対前年増減率
売上高	1,282	1,303	+21	+1.6%
営業利益	99	63	△36	△36.2%
経常利益	103	70	△33	△31.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	93	29	△63	△68.2%
売上高 営業利益率	7.7%	4.8%		

- 増収減益
- 四半期純利益：23/3期1Q 本社ビル建て替え・減損処理による特別損失計上：12億円  
22/3期1Q 固定資産譲渡（港南ビル）による特別利益計上：41億円

# 2023年3月期第1四半期 事業分野別売上高、営業利益実績



(単位：億円)

	売上高			営業利益 (営業利益率)		
	22/3期1Q	23/3期1Q	対前年増減率	22/3期1Q	23/3期1Q	対前年増減額
栄養・機能性食品事業	315	<b>313</b>	△0.8%	29 (9.3%)	<b>19</b> (5.9%)	△11
主力食品事業	485	<b>449</b>	△7.5%	42 (8.6%)	<b>19</b> (4.3%)	△22
B to B 事業*	198	<b>228</b>	+15.3%	9 (4.3%)	<b>5</b> (2.4%)	△3
海外事業*	101	<b>136</b>	+34.9%	18 (18.1%)	<b>16</b> (11.9%)	△2
その他・消去*	183	<b>178</b>	△2.9%	1 (0.3%)	<b>3</b> (2.0%)	+3
合計	1,282	<b>1,303</b>	+1.6%	99 (7.7%)	<b>63</b> (4.8%)	△36

- 栄養・機能性食品事業：機能性ヨーグルトなど高付加価値商品に注力、クリニコ増収も事業計微減収。原材料・エネルギー価格上昇
- 主力食品事業：価格改定、高付加価値商品の拡大に注力も、消費動向変化・数量減影響。原材料・エネルギー価格上昇
- B to B 事業：業務用乳製品拡大（外食等向け需要）、菌体増収。原材料・エネルギー価格上昇
- 海外事業：育児用ミルク・菌体輸出堅調。ミライ社は乳原料市況上昇に対応し増収もラクトフェリンの寄与落ち着く。成長のための費用増

\* B to B 事業、海外事業、その他・消去の22/3期営業利益は、新中期経営計画における事業分野別の見直しに伴い調整

# 2023年3月期第1四半期 サブセグメント売上高



(単位：億円)

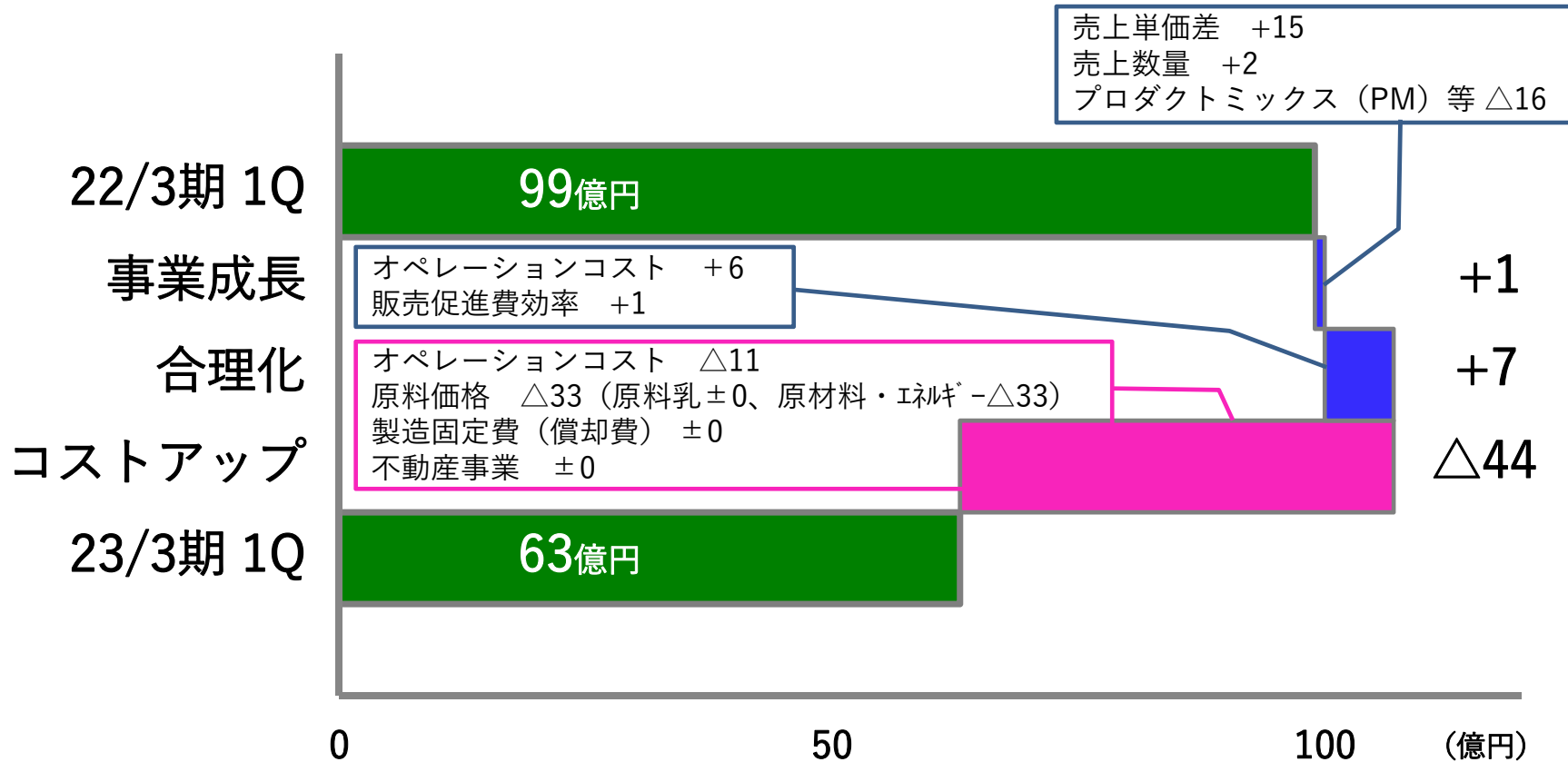
	22/3期1Q	23/3期1Q	対前年増減率
<b>栄養・機能性食品事業</b>			
ヨーグルト	139	137	△1%
市乳（宅配など）*1	49	48	△2%
栄養食品	32	32	△1%
クリニコ	60	62	+3%
<b>主力食品事業</b>			
ビバレッジ*2	149	133	△11%
アイスクリーム	117	114	△2%
チーズ	67	59	△12%
牛乳*2	116	110	△5%
デザート	21	18	△12%
<b>海外事業</b>			
MILEI GmbH	72億円/55百万€	96億円/70百万€	+34% / +27%

- 機能性ヨーグルト注力、合計は減収も「ビヒダス 便通改善」拡大。「パルテノ」好調
- 育児用ミルク：液体ミルク発売（4月）
- 流動食など堅調
- 「マウントレーニア」：「ノンスイート」投入も価格改定後の数量影響など。「リプトン」減収
- 価格改定（6月）。「PARM」好調、「MOW」SKU減、「ピノ」前年フレーバー品好調の反動減
- 価格改定後の消費環境変化
- 「焼プリン」価格改定（4月）、SKU減
- 乳原料市況上昇に対応した価格転嫁の一方、ラクトフェリンの寄与は落ち着く

\*1 市乳（宅配など）の22/3期実績は、新中期経営計画における事業分野別の見直しに伴い調整

\*2 23/3期より、ビバレッジ、牛乳間の対象商品を移管。22/3期実績、対前年増減率を移管後のものに調整

# 2023年3月期第1四半期 営業利益増減要因



- 売上単価差：価格改定効果
- 売上数量：価格改定後の数量減・消費動向変化も、B to B 事業、海外事業が寄与
- プロダクトミックス等：ヨーグルト、ビバレッジ、アイスクリーム減収。ミライ社ラクトフェリンの寄与の落ち着き
- オペレーションコスト：合理化の一方、人件費、旅費など増加。研究開発費増強
- 原材料・エネルギー価格：エネルギー（△10億円）、コーヒー、輸入乳原料、チーズ、包装材料など上昇

1. 2023年3月期第1四半期決算概要

**2. 2023年3月期業績見通し**



# 2023年3月期 業績見通し

計画修正なし



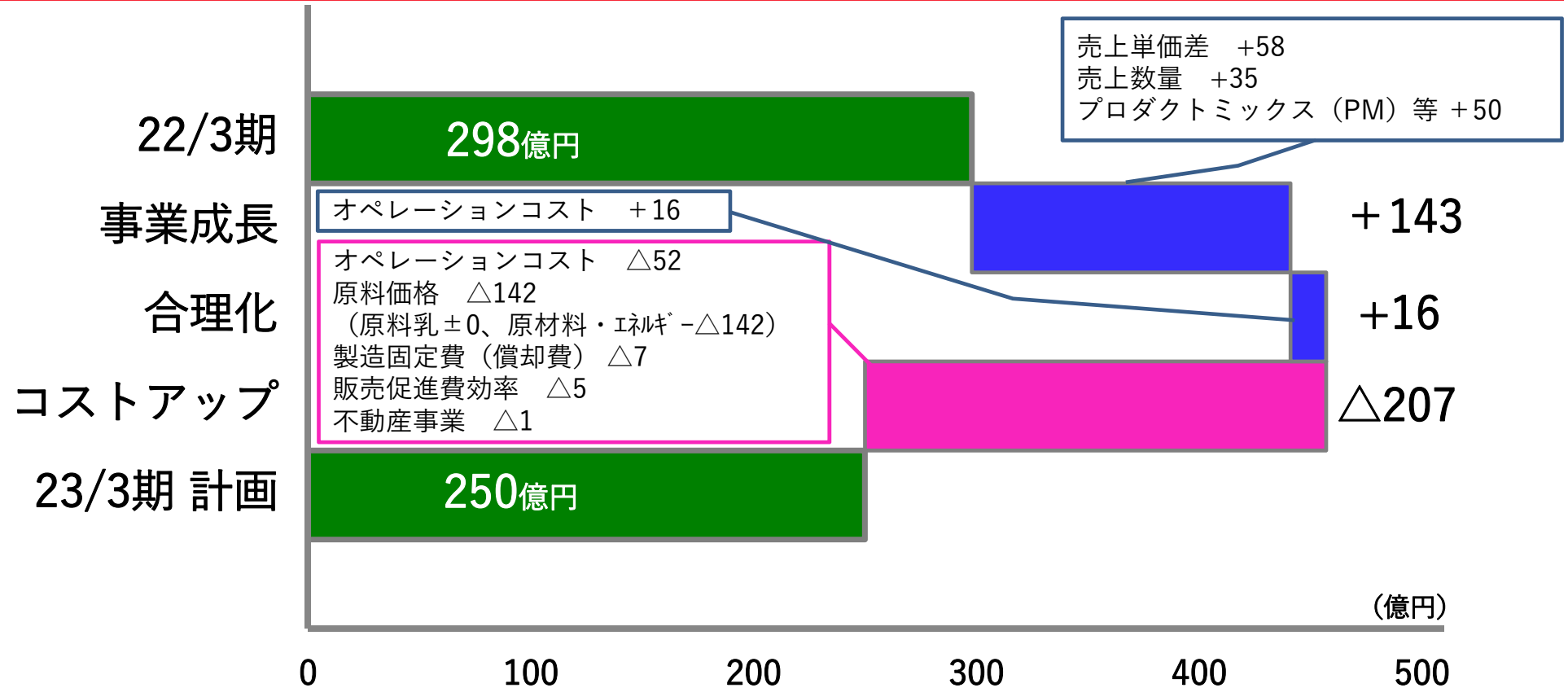
(単位：億円)

	22/3期	23/3期 通期計画	対前年 増減額	対前年 増減率	22/3期 上期	23/3期 上期計画	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	5,034	5,200	+166	+3.3%	2,613	2,700	+87	+3.3%
営業利益	298	250	△48	△16.1%	207	170	△37	△18.0%
経常利益	311	259	△52	△16.8%	215	177	△38	△17.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	338	158	△180	△53.2%	172	107	△65	△37.9%
売上高 営業利益率	5.9%	4.8%						
ROE 当期純利益/自己資本	16.7%	7.5%						
一株当たり 配当金	80円	90円						

- 計画修正なし：急激な外部環境の変化を受け、減益計画
  - 価格改定追加発表分（9月：サンキスト100%ジュース、10月：チーズ再、クリープなど）は期初計画に織り込み済み
  - 11月からの飲用向け原料乳価格改定による影響は未織り込み。また、1US\$=125円前提のまま変更なし
- 当期純利益：先期の固定資産売却益（港南ビル、近畿工場跡地：計209億円）の反動減、  
本社ビル建て替え・減損処理による特別損失：12億円（1Q）

# 2023年3月期 営業利益増減見通し

計画修正なし



- 売上単価差：価格改定効果（「マウントレニア」、アイスクリーム、チーズ（10月からの再価格改定含む）など）
- プロダクトミックス等：商品規格見直し、取引条件の見直しなど価格改定以外の対策。機能性ヨーグルト・アイスなど高付加価値商品拡大
- オペレーションコスト：合理化の一方、人件費、物流費の増加影響大きい
- 原材料・エネルギー価格：輸入乳原料、輸入原料チーズ、エネルギー、コーヒー、包装資材などの上昇影響、為替影響

## パキスタン・育児用ミルク関連のM&A

### NutriCo Morinaga社の子会社化

- パキスタンにおける育児用ミルク販売代理店、および製造販売事業を手掛ける合弁会社「**NutriCo Morinaga**（ニュートリコモリナガ）」の株式を約33%取得、51%を保有し子会社化する内容の基本合意書締結（7月）、株式譲渡契約を決議（8月）
- 森永乳業は1978年にパキスタン向けに育児用ミルクの輸出を開始。長年の事業展開により森永乳業ブランドが周知
- 同国は世界第5位の人口を有する育児用ミルク成長市場。さらなる事業展開により、お客さまの成長・健康に貢献
- 今後、株式譲渡契約締結・譲渡実行



NutriCo Morinaga社

名称 : NutriCo Morinaga (Private) Limited  
売上高\* : 13,895百万PKR (約90億円) 1PKR=0.65円  
営業利益\* : 1,918百万PKR (約12億円) \*22/6期  
取得価額 : 57,003千US\$ (約77億円) 1US\$ =135円  
子会社の異動日/株式譲渡実行日 : 未定

## 自己株式の消却（本日・8月9日発表）

### 自己株式の消却に関するお知らせ

1. 消却する株式の種類 : 普通株式
  2. 消却する株式の数 : **2,000,000株**  
(消却前の発行済株式総数に対する割合4.01%)
  3. 消却予定日 : 2022年8月16日 (火)
- (ご参考)
- 消却後の当社の発行済株式総数 : 47,845,343株
  - 消却前の自己株式数 (6月末現在) : 4,639,921株  
(うち、本年3月1日取得の自己株式数 : **4,300,000株**)

# Appendix

# (参考) 2023年3月期 事業分野別売上高、営業利益計画

計画修正なし



(単位：億円)

2023/3期	売上高				営業利益 (営業利益率)			
	上期計画		通期計画		上期計画		通期計画	
	売上高	対前年増減率	売上高	対前年増減率	営業利益	対前年増減額	営業利益	対前年増減額
栄養・機能性食品事業	644	+4.0%	1,290	+4.8%	47 (7.3%)	△11	79 (6.1%)	△12
主力食品事業	1,015	+1.2%	1,840	+1.5%	81 (8.0%)	△17	90 (4.9%)	△18
B to B 事業*	434	+8.8%	870	+5.9%	12 (2.6%)	△4	21 (2.4%)	△5
海外事業*	230	+9.8%	464	+5.8%	27 (11.7%)	△5	53 (11.4%)	△10
その他・消去*	377	△1.4%	736	+0.7%	4 (0.9%)	△1	7 (1.0%)	△3
合計	2,700	+3.3%	5,200	+3.3%	170 (6.3%)	△37	250 (4.8%)	△48

\* B to B 事業、海外事業、その他・消去の対前年増減率、増減額は、新中期経営計画における事業分野別の見直しに伴い調整

# (参考) 2023年3月期 サブセグメント売上高計画

計画修正なし



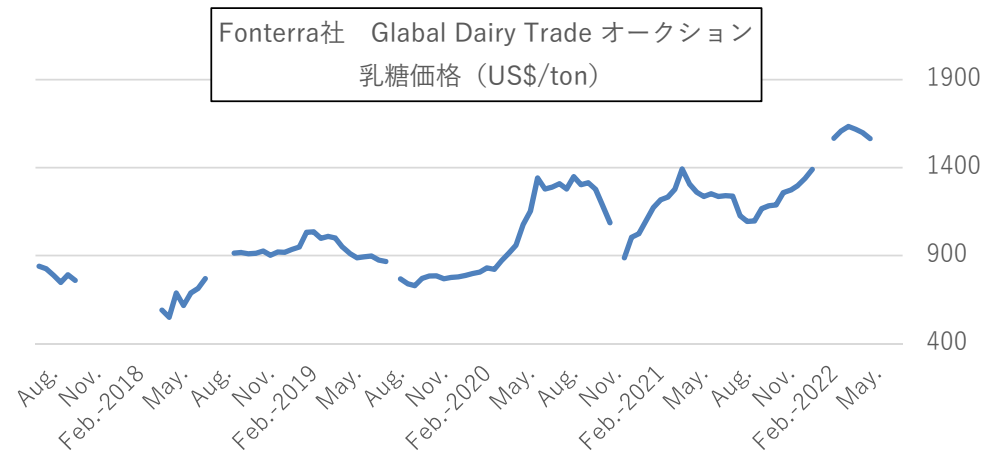
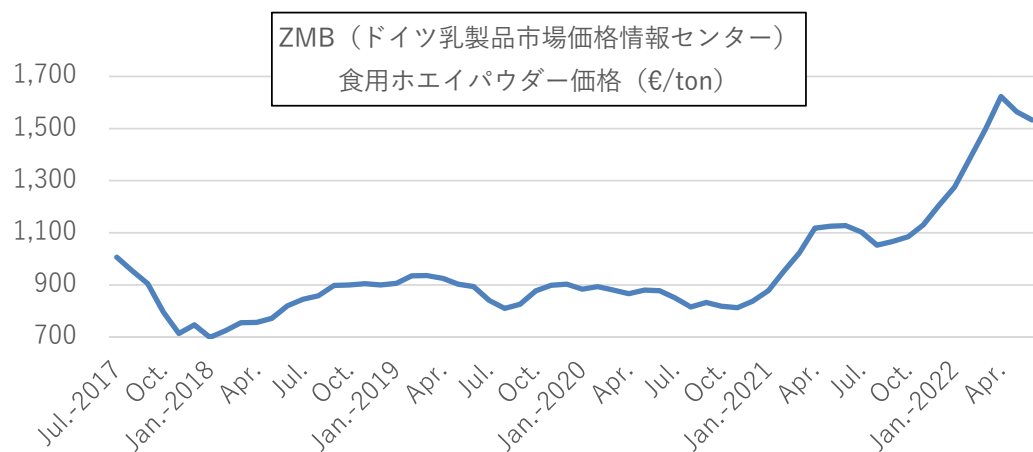
(単位：億円)

2023/3期	上期計画		通期計画	
	売上高	対前年増減率	売上高	対前年増減率
<b>栄養・機能性食品事業</b>				
ヨーグルト	290	+6%	572	+8%
市乳（宅配など）*1	97	±0%	193	+1%
栄養食品	66	±0%	130	+1%
クリニコ	125	+3%	251	+2%
<b>主力食品事業</b>				
ビバレッジ*2	310	+2%	558	+2%
アイスクリーム	268	+5%	428	+7%
チーズ	140	+6%	274	+5%
牛乳*2	230	△2%	439	△2%
デザート	41	△2%	78	△2%

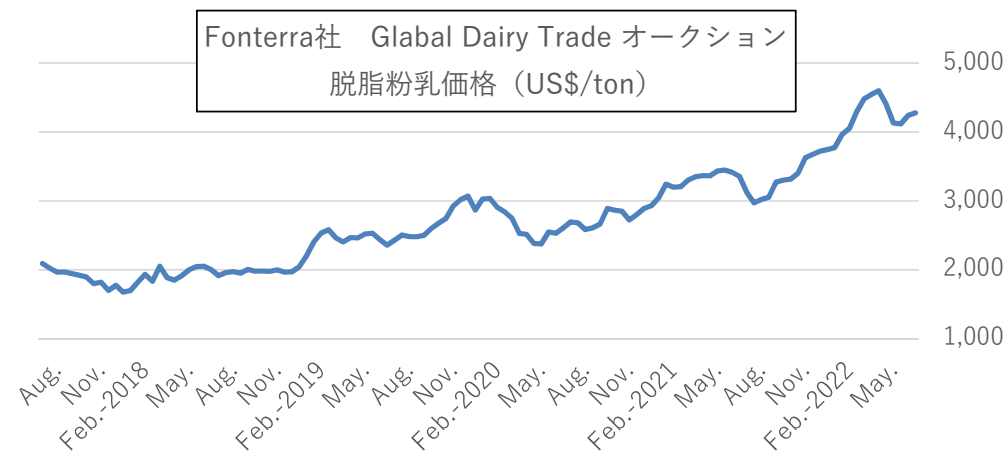
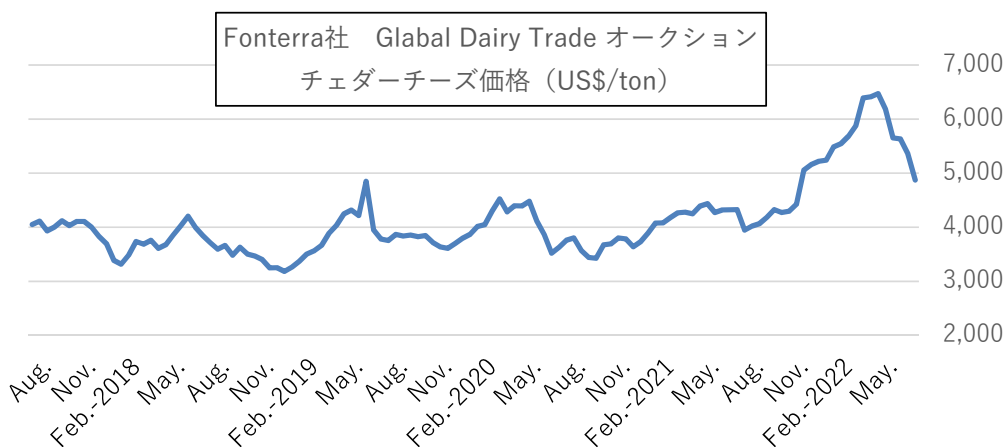
\*1 市乳（宅配など）の前期実績は、新中期経営計画における事業分野別の見直しに伴い調整

\*2 23/3期より、ビバレッジ、牛乳間の対象商品を移管。対前年増減率を移管後のものに調整

# (参考) 乳原料市況データ (過去5年間)



➤ ドイツ・ミライ社の調達する原料ホエイ価格と相関



Source : ZMB (食用ホエイパウダー)、Fonterra社 Global Dairy Trade オークション (乳糖、チェダーチーズ、脱脂粉乳) \* 線無し部は売買不成立



かがやく“笑顔”のために

**森永乳業株式会社**

## 業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。

なお、この資料における記載金額については、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が合わない場合があります。また、特に注記のない場合は、累計値を表示しています。